



BANZAI

124号
2025.6

ばんざい



P2・3 【特集】暮らしの中で季節を感じる ～季節と自然の楽しみ方～

- P4 土いじりのひと時を楽しむ 特別養護老人ホーム 砥部オレンジ荘
希望を叶える外出行事 ケアハウス 砥部オレンジ荘
春野菜の収穫と調理 小規模多機能ホーム 砥部オレンジ荘
- P5 「伊予砥」展で感じたふるさとの温もり.... 小規模多機能ホーム あったか
手作りのおやつは美味しさも格別！ デイサービスセンター あったか
お花見で春を満喫 グループホーム 里山
- P6 その名も「顔出しパネルでひな祭り」 小規模多機能ホーム 里山
大人気の「昼食＆おやつ作り」イベント 里山オレンジハウス
新入職員紹介
- P7 ポリファーマシーについて / 事業計画 / 入職式
- P8 『合理的配慮の提供』とは？ / 里山たかのごOKカフェ / マルワカリWEBの企業情報を更新
Instagram（インスタグラム）開設 / 編集後記

【発行・編集】

社会福祉法人 砥部寿会
愛媛県伊予郡砥部町大南2267
TEL 089-962-7820



ホームページアドレス <https://tobe-k.com/>

砥部寿会

検索



砥部町大南地区 ② 特別養護老人ホーム・ショートステイ・ケアハウス・小規模多機能型居宅介護

砥部町高尾田地区 ② 小規模多機能型居宅介護・デイサービスセンター・居宅介護支援

松山市久米地区 / 桑原地区 ② グループホーム・小規模多機能型居宅介護 / 共同生活援助（日中サービス支援型）・短期入所

特別養護老人ホーム
砥部オレンジ荘

砥部町の断層公園へ、藤の花を見に行きました。大きな鯉のぼりを眺めたり、シャボン玉を飛ばしたりして、青空の下で皆さんと一緒におやつも楽しみました。ぽかぽかと暖かく、天気にも恵まれて、のんびりとしたひとときを過ごすことができました。



Happy/



お天気の良い日にお花見に出かけました。青空に映える桜や、山肌を埋め尽くす菜の花を眺めながら「やっぱり桜はいいね」と喜ぶ方や、おやつを食べながら「花もいいけど団子もね」と笑う方もいて、皆さん春のひとときを満喫されていました。



特
暮らし
季節を

暖かくなってきたので、桜や梅を見にドライブに出かけました。
「きれいね〜この時期だから、見に行けて良かった!」と、皆さん大喜びでした。



HAPPY SPRING

小規模多機能ホーム
砥部オレンジ荘



季節の花を飾りながら
「センスあるやろうか」と、大笑い

青空の下、大正琴で大合唱!



小規模多機能ホーム
あったか

「ぽかぽか」の子どもたちと一緒に
こいのぼりづくり
昔を懐かしみ、思い出話に花が咲く

砥部町の赤坂泉でお花見ドライブを楽しみました。今年の桜は例年より見頃が長く続き、薄紅色の花道を散策することができました。その美しさに、誰もが自然と笑顔になり、帰り際には、満開の桜をバックに記念撮影を楽しみました。皆さん大変ご満悦のご様子でした。



HELLO SPRING



デイサービスセンター
あったか

季節と自然の楽しみ方

集
の中で
感じる



かわいらしいねえ～



春のおさんぽ

HAPPY
SPRING



グループホーム里山

鷹子運動公園に桜と菜の花を見に行きました。綺麗に咲いた花の前で記念撮影をしました。また、お茶会では美味しい洋菓子を頂きながら交流しました。



HAPPY CAFE



小規模多機能ホーム

里山



春の訪れとともに、皆さんとドライブに出かけました。利用者さんのリクエストで、桜が咲く公園でお弁当やファーストフードを楽しみました。桜を眺めながらの食事は格別で、美しい桜の下で記念撮影もしました。皆さんと春のひとときを満喫できました。

Spring day



里山オレンジハウス

特別養護老人ホーム 砥部オレンジ荘

活動の様子ははこちらから



土いじりのひと時を楽しむ

入所者の皆さんと職員が協力し、庭にジャガイモを植えました。土に触れることで季節の移ろいを感じながら、楽しいひとときを過ごすことができました。「若いころはよく畑仕事をしていたのよ」と語る入所者の一人は、慣れた手つきで種イモを植え、丁寧に土をかぶせていました。植え付けの後は、皆さんが毎日のように畑を訪れ「芽は出たかな」「葉は伸びたかな」と観察するのが日課となっています。日々変化するジャガイモの様子を眺めることが、小さな楽しみや生きがいの一つにもなっているようです。今から収穫が待ち遠しいですね。(主任 小笠原 理子)



芽は出たかな



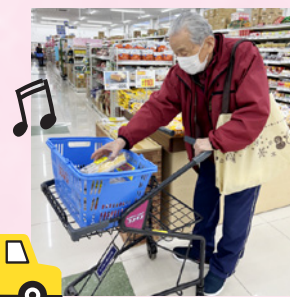
ケアハウス 砥部オレンジ荘

活動の様子ははこちらから



希望を叶える外出行事

ケアハウス砥部オレンジ荘では、入居者一人ひとりのご希望を大切にしています。思い出のあるお店への買い物や、ご家族とよく食事をされていたお店でのお食事、これまで住まっていた地域へのドライブなど、個別に合わせた外出行事の企画をしては「家族とよくここに来ていたのよ」と思い出を語ってくださったり、車窓の景色を懐かしみながら「来てよかった、また連れてきてね」と笑顔で話してくださったりと、それぞれの方が思い思いの時間を過ごされ、たいへん喜ばれていました。今後も外出行事に限らず、皆さんのご希望に沿った企画を考えています。(業務リーダー 水口 純子)



小規模多機能ホーム 砥部オレンジ荘

活動の様子ははこちらから



春野菜の収穫と調理

秋に植えた春野菜が、いよいよ収穫の時期を迎えました。野菜を育てながら「やっと食べ頃やね。買うのは簡単やけど、作るのはこんなに時間と手間がかかって大変なんよ〜」と、ご利用者同士で農家だった頃の思い出や、苦労話に花が咲いていました。収穫した春菊は天ぷらに、スナップエンドウとブロッコリーは茹でてマヨネーズを添えていただきました。「おいしいね!お店ではなかなか採れたての野菜は食べられんけんね」と喜ばれ、次は夏野菜を育ててみようという話題でも盛り上がっていました。これからも皆さんと一緒に季節の移ろいを感じながら、野菜作りから収穫、調理まで、美味しさあふれる食の時間を提供していきたいです。(山内 美優)



cooking ♡



「伊予砥」展で感じたふるさとの温もり

「とべむかしのくらし館」で開催された『砥部・外山 “伊予砥”』展に、地元の利用者さんと行ってきました。砥部町外山の砥石山は、かつて砥石の名産地として地域の誇りだったそうです。今回は、利用者さんのコレクションも展示されていたことから、館長のご配慮で、砥石にゆかりのある方々も集まってくださいました。歌や会話を楽しみながら、懐かしい時間を共有でき、皆さんとても楽しそうな様子でした。「もう“伊予砥”の語りを受け継ぐ人がおらんようになってしまつて、わしが最後やと思つた。でも、こうして受け継いでくれる人がいて、本当にありがたい」と、感慨深げに話をされました。地元の歴史や、利用者さんご自身の歩みに触れることができ、とても心が温まるひとときとなりました。(業務リーダー 石河 亜希子)

小規模多機能ホーム あったか

活動の様子ははこちらから



手作りのおやつは美味しさも格別！

「おやつを食べたいな!」という希望が利用者さんからあり、それなら「皆さんと作りたいね」と、おやつ作りを企画しました。メニューを相談した結果、カップケーキになりました。まずは、カップケーキの材料を買うために、スーパーへの買い物から始めました。カップケーキの材料だけでなく、店内に陳列されている商品をあれやこれやと見ることができ、楽しくショッピングができました。カップケーキ作りの工程では、卵を割ったり、生クリームを入れたり、ホットケーキミックスを入れて混ぜたり、そしてアクセントにチョコを入れてできた生地を、カップに入れてオーブンで焼きあげました。しっとりふわふわ食感のカップケーキができ上がり、おやつ時間に美味しくいただきました。皆さんで作ったということもあり、格別のおいしさになりました。(松永 千秋)

デイサービスセンター あったか

活動の様子ははこちらから



お花見で春を満喫

グループホーム里山の周囲には運動公園があり、春になると一面が桜色に染まり、美しい景色が広がります。公園へ出かけると、満開の桜の幻想的な光景に皆さん感動され、毎日のように足を運んでは、舞い散る桜の中を散歩されていました。また、ホームの食堂の窓からも桜を眺めることができ、お花見行事として、職員手作りのお花見弁当をご用意しました。皆さんは、お弁当に舌鼓を打ちながら、ゆったりとお花見を楽しまれました。(主任 竹田 友和)

グループホーム里山

活動の様子ははこちらから



小規模多機能ホーム 里山

活動の様子はこちらから



ひなまつり



その名も「顔出しパネルでひな祭り」

小規模多機能ホーム里山では、3月3日のひな祭りにあわせて、オリジナルのひな祭りパネルを制作しました。このひな人形パネルは、利用者の皆さんと職員が協力して色画用紙を切り抜き、最後に利用者さんが丁寧に飾り付けを行いました。顔出しパネルからは、美しく着飾ったおひなさまとお内裏さまが、素敵な笑顔とともに顔をのぞかせていました。(森 直人)



里山オレンジハウス

活動の様子はこちらから



ナムル



大人気の「昼食&おやつ作り」イベント

里山オレンジハウスの人気イベントには「昼食作り」や「おやつ作り」といった、作って楽しく、食べておいしい活動があります。「昼食作り」では、女性利用者さんからのリクエストで中華料理に挑戦しました。皆さんで協力して、麻婆豆腐やナムルを作りました。一方、男性利用者さんからは「たくさん食べたい!」という希望があり、大盛り焼きそばを作ることに、キャベツやニンジンなどの野菜をたっぷり入れたため、かき混ぜるのもひと苦労でした。「おやつ作り」では、いちごジャムのパイを作りました。パイ生地シートも、いちごジャムを使った手作りでした。見た目も味も素敵な、かわいらしいハート型のジャムパイが完成しました。今回は、皆さんが楽しみにしているイベントの一コマをご紹介します。(宮内 貴志)

大盛り焼きそば

\\ New Face //

新入職員紹介

《砥部町大南地区》

特別養護老人ホーム 砥部オレンジ荘



【介護職員】

相原 玲奈 (アイバラレイナ)
好きな言葉: 半額シール



【介護職員】

NABILAHTUN NADZIFAH
(ナビラートン ナディファー)
好きな言葉: うつくしいせいかつ

《砥部町高尾田地区》

小規模多機能ホーム あったか



【介護職員】

酒井 莉駆 (サカイリク)
好きな言葉
人生一度きり、楽しもう

《松山市桑原地区》

小規模多機能ホーム 里山



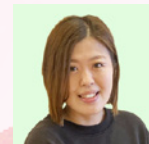
【介護職員】

LAMYA FAUZIAH FITRI
(ラムヤファウジア フィトリ)
好きな言葉: たのしい、しあわせ



【生活相談員】

越智 美幸 (オチミユキ)
好きな言葉: 為せば成る



【介護福祉士】

高市 佳奈 (タカイチ カナ)
好きな言葉
福德円満



ポリ(複数)ファーマシー(薬剤:薬局)とは、単に多くの薬を服用することではなく、それにより薬物有害事象のリスクが高まる状態を指します。年を重ねてくると、その影響もあり複数の病気や受診が原因で薬も増えることがあります。6種類以上の薬を服用することで副作用を起こす人が増えるのも分かっていて(※服用薬剤数と薬物有害事象の頻度の調査結果からも、処方内容の見直し及び検討が必要と考える)、また多剤処方による転倒の報告も多数あります。同じ薬の重複処方や、相互作用の危険性のみでなく、残薬管理が難しく、薬の飲み残し・飲み忘れなどの服薬過誤、医療費の増加も問題視されています。

実は65歳以上の高齢者では、60歳以上で5剤以上を処方される人は約27%、70歳以上では40%以上薬剤を5～6種類処方されている人が13.0%、7種類以上処方されている人が23.5%います。(令和5年社会医療診療行為別統計:院外処方)なんと、75歳以上の約4人に1人が7種類以上の薬を使っています。



日頃から注意をしておくこと



- ✓ かかりつけ医、かかりつけ薬局(薬剤師)を持ち、飲んでいる薬の情報を共有する
- ✓ 気になる症状があるときは、かかりつけ医、かかりつけ薬局(薬剤師)に相談する
- ✓ 自己都合で複数の医療機関にかかる「はしご受診」を控え、薬局も1つにする
- ✓ 新しい薬の追加や薬が変わった時は、体調変化に注意する(自己判断で中止しない)
- ✓ お薬手帳は1冊にまとめ、飲んでいる薬の全体が把握できるようにする
- ✓ マイナンバーカードの提示も検討(院内投薬を含めた併用薬のチェックが可能)

文責:ハッピー薬局 薬剤師 佐川 禎朗

参考:一般社団法人くすりの適正使用協議会:あなたのくすりいくつ飲んでいますか? 一般社団法人 日本老年学会 多すぎる薬と副作用

「ポリファーマシー」って聞いたことがありますか

多くのくすりを服用しているために、副作用を起こしたり、きちんとくすりが必要なくなったりしている状態をいいます。単に服用するくすりの数が多いことではありません。



令和7年度 社会福祉法人 砥部寿会 事業計画

入職式



(重点目標と課題解決の取り組み)

【法人全体】

1. 法人の経営基盤の安定強化に向けた取り組み
2. 福祉サービスの質の向上
3. 介護人材の確保及び育成に向けた取り組み

【特別養護老人ホーム 砥部オレンジ荘・短期入所】

1. 入所者のQOL向上のため、社会的交流、共に楽しみを分かち合う
2. ICT機器、福祉用具等を活かした業務改善、各職種の専門性の向上

【短期入所生活介護事業所・砥部オレンジ荘短期入所ショートステイ】

1. 利用者のQOL向上のため、個人個人の身体状況やニーズに合わせたICT機器、移乗用リフト、福祉用具等の必要性を全職員が理解し活用
2. 業務の標準化と各職種の専門性の向上

【ケアハウス砥部オレンジ荘】

1. 専門性のある医療と基礎介護の実践
2. 安心、安全に生活して頂くための身体機能の維持と環境の整備

【小規模多機能ホーム砥部オレンジ荘】

1. 中重度者を支える対応力と家族支援の強化
2. 地域への情報発信による事業所の周知

【小規模多機能ホームあったか】

1. 専門性の向上とチームケアの推進
2. 発信力の強化と地域との関係性構築

【デイサービスセンターあったか】

1. サービスの質の向上に向けた取り組み
2. 事業運営安定化への取り組み

【ケアプランセンターあったか】

1. 在宅における医療・介護の多職種連携の強化
2. ケアマネジメントの質の向上

【グループホーム里山】

1. 「認知症への対応力の底上げと広報力の強化」
2. 「専門性の向上と環境改善、人材の段階別育成」

【小規模多機能ホーム里山】

1. サービスの質の向上と家族支援の充実
2. 生産性向上と職員の定着を目的とした環境改善

【里山オレンジハウス】

1. 地域における公益的な取り組み
2. 高齢化に伴う問題の取り組み

『合理的配慮の提供』とは？

皆さんの生活において提供されている設備やサービスなどは、簡単に利用できるものでも、障害のある人にとっては利用が難しく、結果として障害のある人の活動を制限してしまっている場合があります。このような、社会的なバリアについて、障害のある人から「社会的なバリアを取り除いてほしい」という意思が示された場合には、負担が過重でない範囲で、バリアを取り除くために必要かつ合理的な対応をすることとされています。これを「合理的配慮の提供」といいます。

令和3年に障害者差別解消法が改正され、事業者による障害のある人への「合理的配慮の提供」が義務化され、この改正法が令和6年(2024年)4月1日に施行されました。

☑ 合理的配慮の具体例

例えば...



CASE 1

障害のある人から「車椅子のまま着席したい」



対応策

椅子を片付けて、車椅子のまま着席できるスペースを確保



CASE 2

障害のある人から「難聴のため筆談が必要だが、弱視でもあり小さな文字は読みづらい」



対応策

太いペンで大きな文字を書いて筆談を行う



合理的配慮の内容は、障害の特性やそれぞれの場面・状況に応じて異なり、また、障害のある人への対応が「不当な差別的取扱い」に該当するかどうか、個別の場面ごとに判断が必要です。障害者差別に関する困りごとがあれば、「つなぐ窓口」に、ご相談してください。(里山オレンジハウス 係長 城戸 大五郎)

内閣府「つなぐ窓口」電話相談:0120-262-701
毎日10時から17時まで(祝日・年末年始を除く)
メール相談:info@mail.sabekai-tsunagu.go.jp

認知症カフェ

『里山たかのこOKカフェ』

当日はいつもの鷹子公民館に、53名の来場があり開店しました。歯科衛生士さんによるミニ講座『口腔衛生と食とのつながり』、ギター演奏、そしてカフェタイムと、楽しく交流と相談もできました。



愛媛の企業 AI WORK PRESET'S

マルワカリWEBの 企業情報を更新

若者視点で愛媛県内の中小企業の魅力を集めたWEBサイトです。社会福祉法人 砥部寿会の企業情報が新しくなりましたので、ぜひご覧ください。



愛媛の企業 マルワカリWEB

デイサービスセンターあったか

Follow Me !



Instagram

はじめました!!

事業所での様子や、行事などを随時UPしていきます。是非アカウントをお持ちの方はご覧になっていただき、フォローやいいね!をよろしくお願いします。



@ATTAKA_TAKOUDA



編集後記



今回の表紙を飾った小規模多機能ホームあったかでは、季節を感じる創作を毎月行っており、手先の運動も兼ねてみんなで談笑しながらしています。引き続き、広報誌「ばんざい」をよろしくお願い申し上げます。

高尾田あったか広場 所長 小椋 真吾